

第55回

学生と教職員の交流の場

学内と社会を結ぶ交流の場

琉大21世紀フォーラム



日時 平成23年1月28日(金)
17:30~19:00

場所 琉球大学 法文学部新棟
2階215教室

テーマ 「ソフトパワー&ソーシャルキャピタル 海外の事例より学ぶ」

※英語での講演です。(日本語通訳あり)



話題提供者紹介

講師

Mr. B.N. Yugandhar ビー・エヌ・ユガンダ
(前インド国家計画委員会メンバー、前インド首相府、首相秘書官)

話題

「インドにおける貧困問題の現状と貧困削減への取り組み」

概要

インドは、人口10億人を超す人口大国であるが、最近の経済発展に拘わらず、まだ多くの国民が貧困な状況にある。そこで、今回の講演では、様々な貧困の定義、また貧困削減のための戦略を紹介する。さらに、インドにおける貧困の状況とインド政府による貧困削減に向けた政策及び実施計画と具体的な実践事例を紹介し、今後の展望を述べる。

講師プロフィール

1981年—1986年: 国連アジア太平洋経済社会委員会(バンコク)産業・技術部、地域アドバイザー(インド政府より国連職員として派遣)
1986年—1988年: アンドラプラデッシュ州政府、産業・商工部、事務次官
1988年—1993年: 国家公務員研修所、所長(インド政府上級官僚の最高研修機関)
1993年—1995年: 農村・雇用省、事務次官(貧困削減政策立案・実施、弱者への社会・経済開発等)
1995年—1997年: インド首相府、首相秘書官
(農村開発、貧困削減を含む社会セクターにおける政策立案、モニタリング、調整。)
2009年: 国家計画委員会メンバー
【専門分野】 貧困削減、農村開発、国家公務員研修、公共政策企画、その他
【学位】 経済学修士 (Sri Venkateswara University)



話題提供者紹介

講師

Dr. P.R. Petrucci
ピー・アール・ペトゥルーチ(マシー大学教授)

話題

「言語資本の功罪~ソフトパワーとしての言語の可能性を示す二つの事例から~」

概要

今回の講演では、ソフトパワーとしての言語の可能性について二つの具体的な事例を通して考えてみる。ひとつは、ハリウッドという単一言語社会のレンズを通すことで、多言語社会の現実がいかに歪められているかを見てみる。スクリーンのなかで他の言語と文化は黙殺され、アメリカ英語に取って代わる。支配的なアメリカ英語がもたらす影の部分である。ふたつ目は、ニュージーランドのマオリ語の復興に見る、言語ソフトパワーの光の部分である。草の根の言語復興活動を通してマオリ語がいかにして活力を取り戻し、マオリの人々の人権の保護と自決権の高揚に寄与したのか、ひとつの事例を紹介する。

講師プロフィール

昭和57年 カリフォルニア大学サン・ベルナディノ校卒業
平成5年 博士号取得(言語学・南カリフォルニア大学)
平成5年 琉球大学外国人教師
平成9年 オクラホマ州ノースイースタン州立大学講師
平成12年 テキサス州ブラウンズビル大学講師
平成15年 ニュージャーランド・マシー大学教授

【専門分野】 言語学

【学位】 言語学博士(南カリフォルニア大学)

主催: 琉球大学生涯学習教育研究センター
問合せ: 琉球大学学術国際部地域連携推進課

TEL: 098-895-8019

(事前に参加登録する必要はありません)



今後のフォーラム（予定）

第56回

講 師：亀山 郁夫（東京外国語大学長）
 話 題：「未定」
 日 時：2011年2月4日（金）17：30～19：00
 場 所：琉球大学法文学部新棟 2階215教室（予定）

第57回

講 師：高良 富夫（琉球大学工学部教授）
 話 題：「ことばを科学する(仮)」
 日 時：2012年2月18日（金）17：30～19：00
 場 所：琉球大学法文学部新棟 2階215教室（予定）

◆お知らせ◆ シンポジウム「ソフトパワーとソーシャルキャピタル」開催のお知らせ

今回講演されたお二人に加えて、元国連SCAP職員の高嶺豊教授（琉球大学）、元ユニセフ職員の垂水裕子博士（お茶の水女子大学特任助教）、ハワイでの安富祖流の中心的存在となっているGrant“Sandaa”Murata氏を交えたシンポジウムの開催を予定しています。こちらへのご参加も歓迎いたします。

日 時：1月29日（土）午後13：30～17：00
 場 所：琉球大学法文学部新棟 2階215教室

※なお、学外来訪者において臨時フォーラムを開催することがあります。

建物配置図



法文学部新棟2階

